

平成26年11月27日

学生のパソコン必携化について

【教育機能】

広島大学は、高度情報化社会において情報通信技術の十分な活用能力を有する人材を持続的に輩出すること、情報通信技術を活用した先進的講義手法により教育力を強化すること、各種配布物や提出物のペーパーレス化を推進することなどを目的として、平成27年度の学部新入生から順次パソコンの必携化を実施します。

広島大学の平成26年度の学部新入生（約2500名）のうちパソコンの所有率は96%、入学時にパソコンを購入した学生は85%でした。パソコン必携化により、一般教室での授業中に自分のパソコンによるノート作成や講義資料の閲覧などが行えるようになります。また、自分のパソコンを使用する機会が大幅に増えるため、より一層パソコンを使いこなせるようになることが期待できます。

パソコン必携化の開始に伴い、経済的理由によりパソコンを購入できない学生に対する支援制度の創設、パソコンを活用した授業の充実、学内の無線LAN（Wi-Fi）設備などパソコン利用環境の整備・充実に順次推進します。なお、広島大学では平成17年度からウィルス対策ソフトウェアを、平成22年度からアプリケーションソフトウェア（Microsoft Office など）をそれぞれ包括契約し、本学の学生・教職員が無料でこれらソフトウェアを使用できるよう支援しています。

※ 参考：他大学のパソコン必携化の状況

九州大学、金沢大学、埼玉大学、長崎大学、高知大学、私学等でパソコン必携化を実施。

【お問い合わせ先】

学術・社会産学連携室 情報化推進グループ 神下
TEL:082-424-6043 FAX:082-424-6020